

小学部くすのき学級・中学部D組の実践

研究授業より

音楽科「歌を楽しもう」「リズムを感じよう」 図画工作・美術科「ビー玉でGO！」

個別の目標を明らかにする



同じ題材、同じ活動の中でも実態差により一人一人のねらいが異なるため、指導者がそれぞれ担当の児童生徒について個別の目標を定めて指導に当たります。

それぞれのねらいに沿うよう、言葉掛けの内容や用いる教具も、一人一人に応じて適したものになるよう工夫しています。

自分で選ぶ・一人一人が活躍する



教材や教具、活動の中での役割など、可能な範囲で児童生徒が自分で選択し行う場面を多く設けています。役割を得ることや、自分で選び、決定することが学習の主体性や意欲につながると考えます。

日常の取組より



「朝の会」で一日の始まりの活動をパターン化させることで気持ちを安定させ、その後の学習に取り組みやすくします。



実態に応じて、実物・具体物やタイル等の半具体物等を用いることで、学習の理解を深められるようにしています。

T Tの役割分担を明らかにする



複数の教員で指導する際には、異なった指示や言葉の使い方などで混乱が起きないように、事前に担当を明確にしておきます。児童生徒の状況によって異なる配慮や別室での対応など、必要に応じて行います。



I C Tにより視覚化することで興味や理解を促し、また、タブレット端末の活用で調べ学習や書字の支援をしています。